

✂切考

日高医師会
新ひだか町立静内病院

林 卓宏

今般、北海道医師会より角型2号の封筒を受け取りました。つい最近、北海道医報を受け取ったばかりでおかしいなと思い手に取ると、びっくりするくらい軽いではありませんか。開封すると中に一枚のA4の紙が入っていました。北海道医報「会員のひろば」原稿執筆依頼でした。エッセイストに憧れていた小生としては、待ちに待ったお誘いでした。どのようにして小生が選定されたか定かではありませんが、大変ありがたく存じます。

依頼状を手にした瞬間、まず投稿規定を確認します。字数制限600～1,000字か。あれ、1,600～2,000字の1ページ消費でも可能と書いてあります。とても1ページ分のコラムを書く自信はないので、前者の文字数を目標として執筆することとしました。そしてここが一番大事なのですが、次に確認する重要事項は締切日です。「平成30年4月23日(月)」となっていました。書類を受け取ったのが3月初旬でしたので、その時点でやたら時間に余裕があると感じたものです。至極楽勝と高を括っていました。後々、ゆっくり題材を考えることができるなど机の引き出しにこの依頼状を仕舞い込んで、日記帳にメモをしようとしたのですが、その時ちょうど電話がかかってきたのです。生返事をしながらメモを取ったものですから、間違っって3月23日のところに「原稿締切日」と記載を入れてしまいました。人間、覚書をする途端に油断してしまいます。メモを取るという簡単な作業で、仕事の半分は終わった気分になるからです。当然、原稿依頼のことをすっかり忘れて何の準備もなく時間は経過、3月21日春分の日、天気の良い水曜日になりました。

今日は、珍しく週半ばの孤立した休日だなと思っふと日記帳を見ると、何とその2日後に「原稿締切日」という記載が目に入りました。その時の気分は、いきなり頭を後ろからぶん殴られたような気分で、身体的な変化としては一瞬目の前が真っ暗になって心拍数が3倍くらいに急上昇し、嫌な汗がどつと噴き出しました。学生時代に、試験でこりゃ満点だと思っっていたのに帰って来た答案が15点だった時の気分に似ています。のんびりした休日モードがいきなり臨戦態勢に急変。ネタ探しのためにありとあらゆる書籍をひっくり返し、部屋は瞬く間に足の踏み場がなくなりました。ここで、以前に読んでいた「✂切本」(左右社)をふと思い出しました。その中に「勉強意図と締め切りまでの時間的距離感が勉強時

間の予測に及ぼす影響」(樋口 収)という論文が掲載されていたのです。「夏休み始まりの当初は、宿題は期間中に終わっているだろう」「老後の貯蓄は十分に確保されている」「オリンピックは経費的にも十分に開催可能」という例を持ち出して、人間は遠い将来の物事ほど楽観的に考えやすいとされています。しかしながら実際には現実には厳しく、大体はこれら予想の逆になってしまう。過去の事例でも同じ結果になると予想できるはずなのに、なぜこれほど人間は楽観的なのかという疑問から実験を積み重ねた結果、予想する将来が遠い時のことであるほど、自分の思った通りに実行できると考えやすく、過去の類似経験や遂行を阻害する要因などを過小評価しやすいためと結論付けていました。そして、これら防止策は将来のことをできるだけ具体的に考えることと締めくくられていましたが、この論文を書いた樋口先生も「✂切本」に脱稿するにあたって、なんと締切日に間に合わずに詫言を入れたというおまけがついたということです。そんなことを書いているうちになんだかコラムらしくなってきたので、もうこのまま自分も脱稿しようと北海道医師会の住所を確認するため、引き出しにしまいこんだ依頼状を探し出して愕然としました。締切日は1ヵ月先の4月23日。この時、初めて締切日を間違っていたということに気付いたのです。今回は早い方に間違っしたので、一時的な精神的・肉体的な苦痛があっただけでむしろ時間的に得をしたわけですが、これが逆に1ヵ月遅く間違っって設定されていたらと思うと、寒心に堪えません。しかし、このコラムが掲載される頃は、予想では初夏の時期と思われますので、自分でその時期に読み返しても「ふーん、つらかったんだな」と他人事のように思っているはずですよ。やはり、過去の類似経験や遂行を阻害する要因などは過小評価されてしまうのでしょうか。いつまでたっても進歩がないわけですね。

今回のコラムは、当初、趣味のことなどを皆さんにご紹介するつもりでしたが、全く違う方向になってしまいましたことをお詫言申し上げます。加えて、文字数も1,600字を大幅に超え、結局は駄文に1ページも費やしましたこと重ねてお詫言申し上げます。最後に、エッセイストに憧れていましたが、こんな駄文しか書けない自分はエッセイストには向いていないと確信いたしました。外来診療に専念いたします。